



天草にヨットハーバーをつくっては…上田さん

が。

もう一つは、現実的なことですが高森線と日ノ影線を結ぶことです。私の計算では、高森線と日ノ影線を結びますと、現在、人吉回りで宮崎に行っていたのが、一時間四十分ぐらい短縮されます。観光面から考えてみても、宮崎に行った観光客を熊本へ足を運ばせるといふ点からぜひ結びつけなければと思うのです。

高森線は、大正十二年に施行され、現在は赤字だからということで国鉄が引き上げて、駅は民間の委託駅になっていきました。赤字だからということで国鉄が引き上げるのは納得できません。

赤字ローカル線廃止問題

と観光

知事 先日、九州地方行政連絡会議で赤字ローカル線廃止反対について話し合いましたが、国鉄では、赤字だから止める

田湖より大きいですか。そうすると崎津から軍ヶ浦へかけて、それに高浜、大江と結ばれると観光地になりますね。

小形 水俣というところとみな水俣病にむすびつけてしまい、水俣を訪れた人は魚は全然食べないという状態です。それで、レポートに書いておりましたように、天草と湯の尾を結ぶ横断遠泳などをやって、水俣病の印象を払拭してもらいたいと思っただけです。

知事 水俣と牛深を結ぶ横断遠泳はなかなか容易ではないですよ。御所浦と芦北間なら可能ですよ。水俣病は、問題を早くかたずけて印象をなくするようにせんと。昭和三十五年以来一人の患者もでていないという事を宣伝しなければ、もう八年間もでていないのですから、これは、観光の上で非常に大切な事だと思います。

——小形さんの阿蘇袖(つむぎ)などの提案は面白いと思いましたが。
小形 水俣には鹿児島からのお嫁が大変多いのですが、そのなかに織物の技術をもっている人が多いのですよ。

知事 そうですか、それで、火山灰土を利用した阿蘇袖、イ草を利用した肥後餅などを作るといふ提案をされたのですね。

この他に産業のことで、県外企業誘致より県内企業の育成をという意見があったようですが。

のではない。鉄道が受け持った方がよいか、バス、トラックなどの自動車を受け持った方がよいか、機能の変化に応じて交通機関の再編成をするというのですね。現実にはそういったところでは、鉄道の利用者が減ってバスやトラックの利用者が増えつつある。この機能の変化に応じた再編成をするというので、赤字ローカル

土地柄を生かした観光開発を

土屋 私は、スイスをみて一番感じましたことは、チューリッヒ湖を利用した植物流園。ここは非常にきれいですね。それで、熊本県みたいに豊富な水があれば、球磨川の水を生かすとか他の川を生かすとか、水を利用してこういうことができないかと思えます。

池田 熊本県には、観光面での先行投資がないですね。

知事 いやいや、本県でもずいぶん先行投資をやって、いまでは頭を抱えています。最近の四・五年で七、八十億ほど入っております。

恒松 私は先行投資については、開発するならば徹底的に、開発しないならそのまま原始的なものを残しておくというようにどちらかにした方がよいですね。九州横断道路にしましても、あの原始的な

線廃止反対は、なかなか容易でないと思っておりました。
おっしゃるとおり、九州一周というのは、福岡から唐津へ出て、佐世保・長崎・雲仙を通じて、三角・天草・熊本から湯の尾・えびの・鹿児島・宮崎・延岡からバスで阿蘇・別府へ行って帰るといふコースは非常にいいですね。

綾部 私は地元ですが、高森線は、朝夕の通勤、通学列車になると置き去りにされるぐらい乗るんですね。ところが昼はガラ空きなんです。しかし私たち地域住民としては、赤字とか合理化の問題は抜きにして、高森と日ノ影を結ぶ問題については、県で大いに検討してもらいたいと思えます。

ところが非常に魅力的だと思います。だから、五家荘あたりの秘境をそのまま残しておくといいような……。観光が中途半端なものよりよいと思えます。

綾部 そうですね、私は、観光開発がなされても、観光客が一度来たところにしてまた来るといふことを、現在のレジャーブームがいつまで続くかということと考えると、県はそんなに観光に投資



ローカル線問題をさらに検討しながら……、綾部さん

羊角湾で観光養殖

池田 現在、羊角湾の締切りが行なわれていますが、これが完成しますと九州一の湖になります。そこで、私は、ここは内面養殖、外面養殖の両方ともできますので観光養殖というものを考えています。

知事 なるほど、羊角湾は鹿児島県の池

地場産業の育成と工場誘致

中西 新聞あたりを見ておきますと、なかなか工場誘致が困難なようですので、それよりも現在の地場産業を育成していただく方がよくはないかと思うのです。

工場誘致というものは一朝一夕にできるものではないと感ずるのです。それで、まず直接影響するところのミカン産業とか畜産というように広域行政と結びつけた基地づくりとか、濃密団地というか、そういったものをコマ切れでなく重点的に、適地にはどんどん増設していくという考え方をさせていただいたらと思うわけです。



基地づくりを……、中西さん

知事 地場産業の育成ということですがこれも、うまく行った例とうまく行っていない例とありましてね。

うまく行っている例では、戦後始まったスチール製品の「金剛」、集材機をつ

くっている「南星工作所」、コンベアーなどを盛んにつくっている「平田車輻」など、これらは地場産業として非常によく育った例です。しかし、かん詰工場とかいろいろ作ってみてもうまく行かん所もあるし、合板工場なんか地場産業で育てようというわけで、開発銀行なんかも随分金も入れ、地元の金融公庫の保証もしましたがなかなか育たない。決して容易なものではありませんね。

池田 熊本県の場合、戦争を境にして断層があるように思えます。

手取り早く言えば、戦前派は商売下手なのです。というのは、モッコスとか、政治的な考えが強いとか、あまりにも国・県にたよるとか、そういうふうな虫が良すぎたと思うのです。ですから、これからわれわれ若いものは、そういう事を抜きにしてやりたいと思います。

後藤 工場誘致の問題ですが、工場を誘致した場合、移植産業と言われます。移植産業の場合、資本も原料をよそから持って来て、製品も他へ持って行く。地元に残るのは労賃だけだという企業では地元にもたらす効果も限界があるように思えます。少なくとも、原料だけでも地元



食品工業の誘致が望ましい……、後藤さん

で供給できる企業を持つてくること、がいと思われま。その意味では食品工業などがいいのじゃないかと思えます。最近、食品工業のコンビナートなどというものもぼつぼつ出来ているようですけれど、企業誘致はこういうのをやっていたらどうかと思えます。

工場誘致の五原則とは

知事 工場誘致は、地元根の生えたものがよいというご意見。おっしゃるとおりです。

工場誘致に五つの原則をかがけています。それは、人を雇う力のあるもの。公害を出さないもの。地場産業と関連のある